



花粉の少ない苗木にしませんか？

『花粉症』の主な原因であるスギやヒノキの花粉。一方で、持続的な森林資源の循環利用のためには、今後もスギ・ヒノキが重要な造林樹種であることは変わりません。

「花粉症はなくしたい。でもスギやヒノキは日本の林業に欠かせない。」

この課題を解決するために、国や県がスギやヒノキの花粉が少ない品種を開発。そこからつくられたのが、花粉の少ない苗木です。



どんな品種があるの？

雄花をほとんど着けない**少花粉品種**や、雄花は着けますが花粉を全くつくらぬ**無花粉品種**などがあります。



一般的な品種の枝



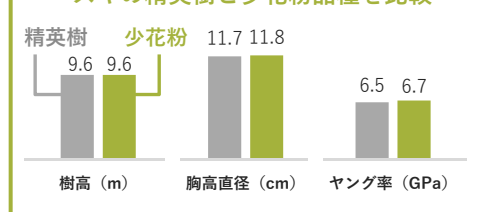
少花粉品種の枝

写真：森林研究・整備機構

従来の苗木と比べて成長は変わらないの？

花粉の少ない品種は、精英樹の中から選抜したり、品種改良をすることで、精英樹と同程度の性質を持っています。このため、**花粉の少ない苗木が従来の苗木と比べて成長や材質が変わることはありません。**

スギの精英樹と少花粉品種を比較



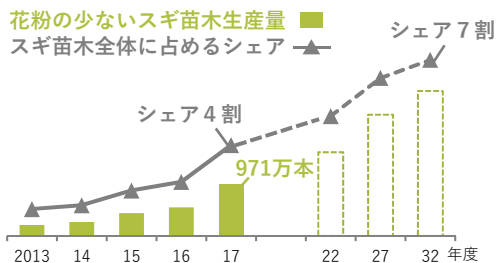
精英樹とは、地域の人工林の中から最も成長が優れているとして選抜された木です。

ヤング率とは、木材のたわみ易さを表したもので、数値が高いほど材料として強度があります。

資料：森林研究・整備機構

※樹高、胸高直径については15年次実生で、ヤング率については14年次クローンで比較。

これからは花粉の少ない苗木が来る！



生産量は年々増加！

スギ苗木全体に占める花粉の少ない苗木のシェアを、**2032年までに7割に増加させることが目標**。ヒノキの生産も始まっています。

資料：林野庁業務資料



花粉が少ない…だけじゃない！少花粉品種のうち、さらに成長や材質の良い品種が開発されています。

写真：森林研究・整備機構

地域連携で取組を推進！

首都圏の九都県市や中国地方5県では、地域連携の下、花粉の少ない苗木の生産量や植替え面積の目標を設定し、対策を加速させています。

国有林でも推進！

国有林においても、花粉の少ないスギやヒノキの苗木を可能な限り植栽しています。

■連絡先 *花粉発生源対策の取組全般については、林野庁森林利用課森林環境保全班までお問合せください (03-3502-3845)。*お住まいの都道府県の取組については、各都道府県の林務担当へお問合せください。

■このチラシは林野庁HPからダウンロードできます！

花粉の少ない苗木を植えよう

